

2014年2月21日

日本銀行大阪支店

近畿地域金融経済概況

【全体感】

近畿地域の景気は、緩やかに回復しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。

すなわち、輸出は、持ち直し傾向にある。個人消費も、消費者マインドの改善などから、緩やかに持ち直しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。設備投資は、持ち直しの動きが広がっており、公共投資は増加している。こうしたもとで、生産は緩やかに増加しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に対応した増産や在庫の積み増しもみられている。雇用情勢も改善している。

先行きについては、海外経済、為替相場や金融市場、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動などに注視が必要である。

【各 論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、持ち直し傾向にある。

設備投資は、持ち直しの動きが広がっている。

個人消費は、消費者マインドの改善などから、緩やかに持ち直しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。

百貨店販売は、高額品を中心に堅調に推移している。スーパーは、全体として横ばい圏内で推移している。家電販売額は、持ち直している。乗用車販売は、増加している。外食売上高は、持ち直している。旅行取扱高は、海外を中心に前年を下回っている。

住宅投資は、増加しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、緩やかに増加しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に対応した増産や在庫の積み増しもみられている。

生産を業種別にみると、輸送機械や白物家電などの電気機械が、堅調な国内需要を背景に増加している。一方、電子部品・デバイスはスマートフォン向けの一服から減少している。この間、鉄鋼や化学は全体としては底堅く推移している。

3. 雇用・所得動向

雇用情勢をみると、労働需給は改善している。こうしたもとで、雇用者所得も改善の動きがみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、プラス幅が拡大している。

5. 企業倒産

企業倒産は、総じて落ち着いた動きとなっている。

6. 金融情勢

預金残高は、基調としては、前年比高い伸びが続いている。

貸出残高は、住宅ローンの増加などを背景に前年を上回っている。

預金金利は、低水準横ばい圏内で推移している。

貸出金利は、小幅ながら低下している。

以 上